

**Best
Fine
Tuning**

痛快



ブリッツ製のブースト計を装着。フルブーストでは0.65kg/cm²まで跳ね上がる



低速域でも抜けがいい、HKSの75φターボマフラーを装着



ホイールは7J-16のBBS。タイヤはP700の225/50-16

Tuned by トリアル ソアラ(7M-GTEU)

快速ソアラをパワーアップ、豪快な走りを!



なんと最高出力300馬力を発生するビッグパワー・ソアラの登場である。ベースになっているクルマは3.0リットルカム7M-GTEUを搭載するソアラのトップグレードモデル3.0GTリミテッドだ。チューニングの中心はターボをより強力にしノーマルエンジンに比べ、パワー、トルクとも数段にアップさせている。トラス製のVVC（バリアブル・ブースト・コントロール）の装着に

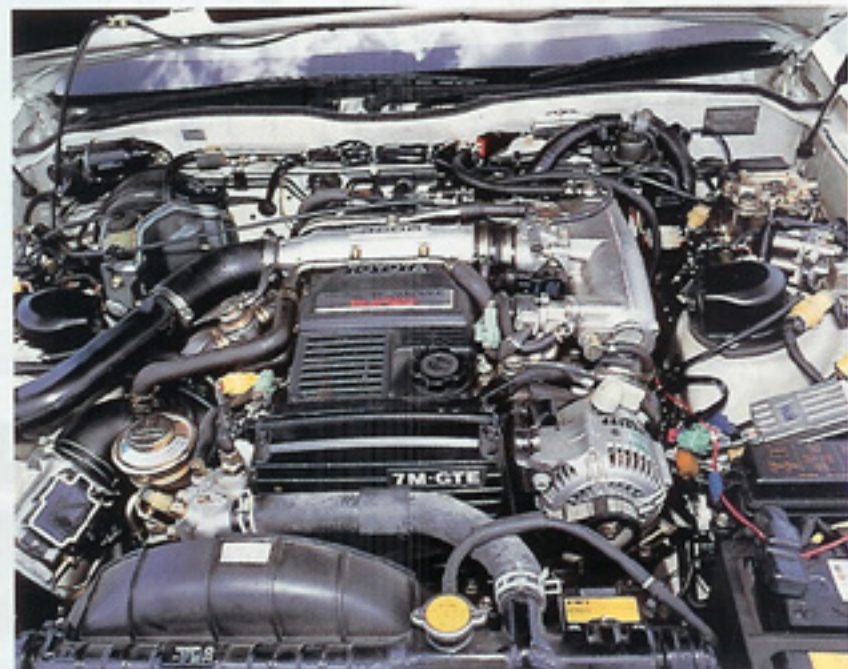
より過給圧は0.65kg/cm²、5000回転時に0.45kg/cm²となるセッティングとなっている。燃料供給は210cc/分×2のインジェクターを追加装備、HKS製のAIC（アレイシヨナル・インジェクション・コントロール）で全域にわたるストレスのないターボレスポンスを体感できる、チューニングといつていい。マフラーはHKS製の75φという大径のターボ専用マフラーを装着している。サス・ベンションはノーマルのまま、BBSの7J×16にP700の225-50-16。



追加インジェクターにより、高速域でのターボのタレを解決



トラス製のVVCとAICをボンネット内に装着する



パワーチェックでは、ずんなりと300馬力をマーク!

ターボを強化したこのエンジン、ベンチ上ではなんと、ネット300馬力を絞り出してしまふのだ。エンジンレンボンスはスムーズで、とくに低速域からの吹き上がりは抜群。大径マフラーのヌケもよくアクセルオンと同時にターボならではの加速感を味わうことができる。高速域で不安のあるターボのタレも追加インジェクターによりすべて解消され快適なレスポンスを示してくれる。300馬力に対するサス・ベンションはストリートユースではほとんど問題なく、エアサスの効果も十分に感じられる。だが、フルパワーを発生する高速クルージングでは、完全にパワー負けしてしまう。強化が必要だ。チューニング費用は部品代として、トラス製のVVC、HKSの75φマフラー、HKS・AIC、追加インジェクター、ブリッツのブースト計の以上5点で約30万円、タイヤ&ホイールが約55万円だ。

ノーマルエンジンの性能もかなりしたたかだが、このクルマのエンジンが発揮する性能はさらに凄い。中! 高速からの吹き上がりはハンパではないのだ。一気にトカーンと行けるようだ。 トリアル

0729・65・6823